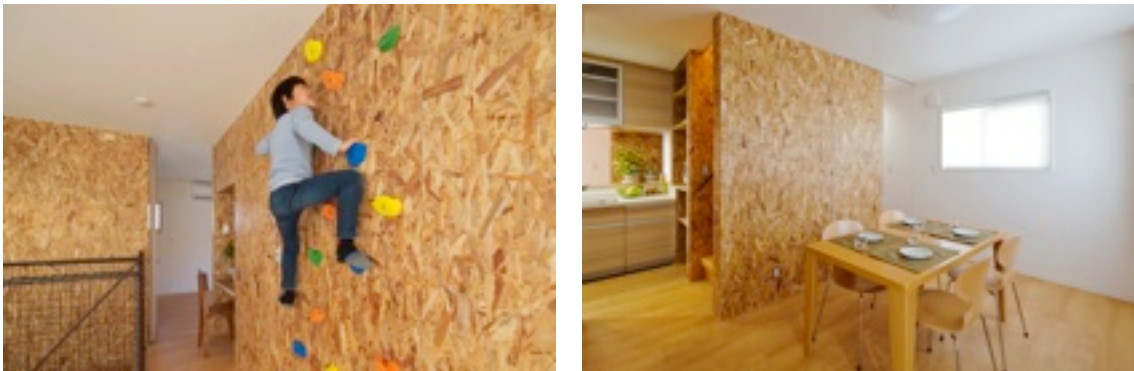


「建てては壊す」から「建てたら活かす」時代のために。
インスペクション（住宅診断）を導入した先駆的なリフォーム事業
《カナエルリフォーム》「iPDCAサイクル®」サービス開始



正直サービス事業を理念として神奈川県を中心にLPガス事業を行なう「株式会社 カナエル」（本社：神奈川県横浜市旭区、代表：関口剛）は、住宅リフォーム事業部を「カナエルリフォーム」に一新し、**ホームインスペクション（Home Inspection：住宅診断）を取り入れた独自の「iPDCAサイクル®」サービスを確立、リフォーム事業の新しいビジネスモデルを構築いたしました。リフォーム業界においてホームインスペクションの導入は先駆的な取り組み**となります。

この度、この独自システムを採用した「カナエルリフォーム iPDCAサイクル® 第1号物件」が完成いたしましたのでご案内いたします。

・カナエルリフォーム公式HP：<http://www.k-reform.jp/>

【背景】

経済成長と人口増加を背景とした大量・安定供給、効率重視のビジネスモデルは、重要な役割を果たしてきましたが、同時に画一化とスクラップ&ビルドというライフスタイル・ライフプランの標準化を推し進めてきました。少子高齢化、人口減少といった経済基盤の変化が生じた昨今では、エネルギー・環境問題、空き家問題など住環境をめぐる様々な問題が顕在化してきています。

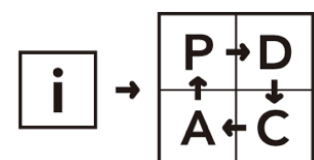
リフォーム業界においても、いまだ画一化と効率重視による消費者サービスが主流であり、これからの社会に相応しい在り方が求められる時代を迎えています。

そのような現状を踏まえ、「カナエルリフォーム」は、再度、住まいの在り方を捉え直し、これまでの「建てては壊す」から「建てたら活かす」住まいづくり、次世代へ引き継ぐ住まいづくりへ転換すべく、そのためのメソッドとして、リフォーム事業の新しいビジネスモデルともいえる独自システム「iPDCAサイクル®」を確立いたしました。お客様とともに住まいの歴史、ハウジングヒストリーを創っていくことを目指します。

【特徴】

最大の特徴は、①リフォーム業界では先駆けてホームインスペクションを導入したこと、②「iPDCAサイクル®」という独自のシステムで、一般のリフォーム会社ではどれかに偏りがちなプラン・デザイン・施工・アフターケアという要素を包括的にサービスできることです。

今後は、個別リフォームのみならず、中古住宅の流通市場へ一括サービス（住宅診断からアフターケアまで）のご提供など、様々な取り組みを広めていきたいと考えています。



【iPDCAサイクル®】

【ブランドコンセプト】

ハウジングヒストリー、はじまる。

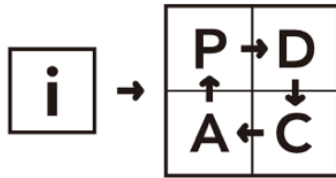
私たちと共に、住宅もまた歳をとり、暮らし方も変化していきます。末永く住まいと付き合うために、カナエルiリフォームでは、初めに住宅診断を行ない、住宅を知ることからはじめます。大切な歴史を刻みながら、住まいを次の世代へ。ハウジングヒストリーをお客様とともに創って行くことを目指します。

家の形をモチーフにした矢印のロゴは、適切なメンテナンスを繰り返し、次世代に引き継ぐ住まいづくりを目指すという意味を表しています。フォルムは、家のかたちを表現したカナエル社の新ロゴとも一体感を持たせています。



【カナエルiリフォームの「iPDCAサイクル®」】

カナエルiリフォームは、「建てたら活かす」住まいづくりを「iPDCAサイクル®」という独自のメソッドで実現します。



【iPDCAサイクル®】

まず、「i」インスペクションでは、住宅診断を行い、家の状態を正確に知ることから始めます。診断を行うのは、住宅診断の専門家・有資格者（公認ホームインスペクター、既存住宅現況検査技術者）。住宅の劣化状況や改善が必要な個所を診断し、「住まいコンディション」を情報提供いたします。それは、今すべきリフォームと将来のリフォームを知ることであり、住まいのタイムスケジュールを把握することで、今、本当に必要で適切なリフォームが可能となります。

「P」プランでは、住む人のライフプランとライフスタイルを把握、また、現在と将来にかかる資金計画を立案、そして、「D」デザイン（設計）では、「i」と「P」を踏まえ、具体的な形にしていきます。ここでは、ご希望により一流の建築家とタイアップした「デザイナーズリフォーム」もご用意しています。

「C」コンストラクション（施工）では、カナエルiリフォーム独自の厳格な監理基準にのっとり高品質な施工をご提供いたします。「A」アフターケアでは、やりっぱなしのリフォームではなく、定期的な点検とフォローを行っていきます。

その後、「P」「D」「C」「A」を繰り返すことで、本当に適切で無駄のないリフォームを行い、住む人がより快適で安心した生活をお送りできるよう、カナエルiリフォームは、住む人とともに、住まいの歴史、ハウジングヒストリーを創ってまいります。

さらに、診断結果やリフォームの図面、契約書をはじめ、見積もりや将来のメンテナンス計画書を含めとかくバラバラになりがちなりフォーム書類を住まいの履歴・アーカイブとして一冊の「ハウジングヒストリーファイル」としてまとめ、将来の住まいづくりのために、住まいの歴史の大切な資料としてお渡しいたします。また、このファイルは、カナエルiリフォームのお客様に対する姿勢をオープンにするものであり、適切性、信頼性の証しともなります。



ハウジングヒストリーファイル

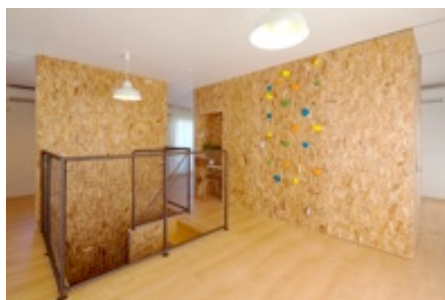
【ショールーム】

カナエルiリフォームのショールームでは、キッチンや自然素材など、豊富なサンプルをご用意しています。リラックスした明るい空間でお客様をお待ちしています。

- ◆ 住所：神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰本町1-30-23（カナエル本社内）
- ◆ 営業時間：9:00～17:00
（日、祭日定休。但しイベント開催時を除く）
- ◆ お客様からのお問合せ：フリーダイヤル0120-109-143
〈受付時間〉営業日の9:00～17:00



【カナエルリフォーム iPDCAサイクル® 第1号物件】



2013年12月、「iPDCAサイクル®」を本格的に取り入れたはじめての住宅リフォーム物件（神奈川県川崎市）が完成しました。リフォーム前の住宅は、小学生の子ども2人をもつ建主の世帯と、祖父母2人の世帯が同居する二世帯のための住宅でありながら、二世帯に対応しておらず、不便な生活が送られていました。また、雨漏りや設備の老朽化など、建物の修復も必要になっていました。

この物件では、「Dデザイン（設計）」を建築家・木下昌大氏に依頼し、「スケルトン・インフィル」という方法を用いました。“スケルトン・インフィル”とは、本来、マンション等のRCラーメン構造の建物で適応されるもので、耐用年数の長い構造体「スケルトン」と、耐用年数が短い内装・設備「インフィル」を切り離せる状態で設計し、耐用年数の短い「インフィル」だけをライフスタイルの変化に応じてリフォームしていく方法です。これにより、将来的な家族構成の変化に伴う部屋割りの変更なども比較的安易に行なうことができ、長く使えるデザイン性の高い住宅が実現しました。一流建築家とのコラボレーションにより、補修して使い続ける“スケルトン”とリフォームしてライフスタイルに合わせ続ける“インフィル”を分けて考えることで、リフォームしやすい住宅を作ることができ、「iPDCAサイクル®」に適した設計手法として今後のリフォームに普遍的に利用できる手法が生まれたのです。

<物件概要>

- ・ 建物構造：鉄骨造2階建
- ・ 既存延床面積：1階51.17㎡ 2階51.17㎡ 合計102.34㎡
- ・ 築年数：24年
- ・ 家族構成：80代夫婦（施主の祖父）、施主30代夫婦+子ども2人（小学生）
- ・ リフォーム工期：3ヶ月

<建築家>

木下昌大（きのした まさひろ） KINO architects <http://www.masahirokinoshita.com>
1978年滋賀県生まれ。2001年京都工芸繊維大学卒。同大学大学院修士課程修了後、2003年にシーラカンズアンドアソシエイツ入社。小泉アトリエを経て2007年に独立し、現在に至る。JID賞ビエンナーレ入賞（2014）、IOC/IAKS award 銅賞（ドイツ／2013）、INTERNATIONAL ARCHITECTURE AWARDS（アメリカ／2013）、グッドデザイン賞（2012）、アルカシア建築賞金賞（2011）、日本建築士会連合会賞奨励賞（2010）ほか受賞多数。



【株式会社 カナエル 会社概要】

- ・ 公式ホームページ： <http://www.kana-l.co.jp/>
- ・ 設立：1965年（昭和40年）8月25日
- ・ 本社所在地：神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰本町1-30-23
- ・ 代表者名：代表取締役社長 関口剛
- ・ 従業員数：72名
- ・ 主要事業：LPガス供給、ガス機器販売、住宅設備機器販売、家電製品販売、給排水等工事、太陽光発電設備販売、住宅リフォーム事業など



▼掲載・取材に関するお問い合わせ先▼

カナエルPR事務局／出口はる（TEL 090-2319-5605、FAX 050-3730-0597、E-mail harudeguchi@gmail.com）
株式会社カナエル お客さまチーム 広報担当（TEL：045-959-1111(代)、FAX：045-959-1555）